

病院名		平成20年度バランス・スコアカード												
理念		人権と環境に配慮しつつ調和にみちた精神保健活動を行う。												
平成21年度に目指すべき姿		県内の精神医療を担う中核施設であり、政策医療として、思春期精神障害、アルコール依存症、身体疾患を伴う精神障害、処遇困難例などの専門医療の充実を図る。また、精神科救急医療施設として救急医療の充実を図るとともに、医療観察法に基づく鑑定入院および通院指定機関としての役割を果たす。精神障害の予防・治療・社会復帰までの一貫したサービスが、患者の居住する地域で提供できるよう、精神保健福祉センターをはじめ、地域の医療機関や保健所、福祉施設など関係機関と緊密なネットワークを構築する。												
区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	業績評価指標	H18実績値	H19実績値(見込)	H20目標値	H21目標値	主なアクションプラン	役割分担				
										医局	看護	技術	地域	事務
顧客の視点		患者満足度の向上 医療安全の徹底 救急および急性期医療の充実 地域信頼度の向上 社会復帰の推進 情報公開の推進	患者サービスの向上 医療事故の未然防止 救急医療の充実 急性期医療の充実 地域との連携強化 在宅支援ネットワーク構築 県民信頼度の向上	患者満足度調査の評価値(総合評価で「やや満足」以上の率) インシデント・アクシデントの改善提案率 救急患者受入件数(救急システム) 措置鑑定件数 新規入院患者数 紹介率 自助グループへの支援 在宅支援ネットワーク構築準備 ホームページアクセス数(月あたり件数)	46%	59.5%	55.0%	55%	・患者満足度調査の実施と分析、対応策の実施 ・待ち時間対策 ・リスクマネジメント部会の開催(月1回) ・救急システムによる患者受入と空床の確保 ・措置鑑定の協力 ・総室の効率活用 ・精神科急性期治療病棟に向けての検討 ・精神科クリニックからの紹介促進、医師会との連携 ・断酒会記念例会、さつき会、オープンスピーカミーティング等への参加 ・患者が生活する地域の行政機関(保健所・市町保健センター)と地域の訪問看護ステーションとの連携を図るための在宅支援ネットワーク構築への働きかけ ・適時更新と内容充実					
財務の視点		経営基盤の安定化 収益の確保 費用の削減	医業収支の改善 患者数の増加 費用の削減	医業収支比率 病床利用率 延べ外来患者数 デイケア通所者数 診療収益に占める材料費の割合 診療収益に占める経費の割合 後発医薬品の採用品目数	63.6%	65.4%	66.0%	66.0%	・収益の確保と費用の削減 ・個室から総室への転室 ・紹介率を高める ・ホームページの充実 ・医師会との連携 ・通所不定期利用者のアセスメントを実施、検討する。 ・適正管理の徹底 ・委託業務の見直し ・省エネ対策の検討 ・薬事委員会で周知					
内部プロセスの視点		医療の質の向上 医療の標準化 運営体制の確立	医療の質の向上 クリティカルパスの導入 目標管理の徹底	病院機能評価の自己評価結果 平均在院日数 クリティカルパス作成件数 クリティカルパス適用件数 BSCモニタリングの実施回数	-	各項目評価3以上91%	各項目評価3以上	各項目評価3以上	・評価項目の自己評価 ・入院診療計画書の遵守 ・退院調整 ・クリティカルパス委員会の設置 ・クリティカルパスの活用 ・BSCの運用管理					
学習と成長の視点		職員の意識改革の推進 人材育成の充実	改善意識の向上 職員の資質の向上 専門資格の取得	改善提案件数 職員満足度調査の実施 研修会の実施 事例検討会の実施 専門医の育成 指定医の育成 認定看護師の育成	3件	0件	5件	5件	・職員提案の実施と周知徹底 ・職員満足度調査(病院事業庁で調査票作成)の実施 ・病院内における研修会の実施 ・事例検討会 ・学会認定専門医の育成支援 ・精神保健指定医の育成支援 ・精神科認定看護師等の育成支援					